

ISSN 1347-1694

Vol. XI 2011

セラミックス基盤工学研究センター年報



**Annual Report of
the Ceramics Research Laboratory
Nagoya Institute of Technology**

名古屋工業大学
セラミックス基盤工学研究センター

セラミックス基盤工学研究センター年報
VOL. 11
2011

名古屋工業大学
セラミックス基盤工学研究センター

編集後記

セラミックス基盤工学研究センターでは、年度ごとの研究成果や種々の活動を、年報としてまとめています。これは単に成果の記録としてだけでなく、センターの活動を広く知っていただく為の情報発信としての意味合いもあります。他の情報発信の方法には、ホームページがあり、むしろ近年では主流です。しかも、コストは断然ホームページが安いです。しかし、情報発信側としては、ホームページは受け身で心許無いところがあります。必要と思われる人に能動的に配布される冊子体とは効果が大きく違うと思われます。また、ホームページは優秀な検索エンジンで知りたいことがピンポイントで得られます。さらに、関連の情報も簡単に得られます。この様に効率的な一面がある一方で、キーワードと関連がうすい事項を検索者が偶然知ることは少ないと思われます。これは図書館で目的の本を探す際に、偶然にも目的外の本のタイトルに目が行き、目的の本と一緒に借り出したりすることがないことに例えることができます。論文誌が冊子体で届けられているところは、先ずは目次に目をやり、自分の研究分野にヒットした論文が掲載されていないか探したものでした。その際、前後の論文のタイトルに目が留まり、偶然にも新たな知識を得るに至ったり、新たなインスピレーションを得たりすることが少なからずありました。しかし、ホームページ検索ではこのような機会が殆どありません。逆に言えば、冊子体というのはホームページには無い学習機会や知的想像を膨らませる力があるということなのでしょう。編集担当者としては、本誌が多分にそのような効力を発揮してくれることを切に願っていますし、このような機会が数多く生まれることが、本誌読者と本誌発刊をサポートしていただいた企業様への御恩返しだと思っています。また、センターの一員としては、今後も良いコンテンツを多く掲載できるよう研鑽を重ねてゆきたいと決意を新たにしています。ここでは冊子体の良さについて述べてきましたが、センターおよび図書館のホームページにPDF版をアップしていますし、国際的な学術データベースにも登録されていますので、ホームページでの検索にも対応したマルチメディア対応となっていることを最後に申し添えておきます。

編集委員

石澤伸夫 太田敏孝 小澤正邦 藤 正督
井田 隆 安達信泰 羽田政明

アドバイザーボード (Advisory Board)

羽山清寿 (株式会社 TYK) 泉 富士夫 (物質・材料研究機構)
王 峰 (北京化工大学) Daniel DUPREZ (Universite de Poitiers)

名古屋工業大学

セラミックス基盤工学研究センター年報 Vol.11

平成 24 年 3 月 31 日発行

責任編集者 藤 正督 (名古屋工業大学セラミックス
基盤工学研究センター)

発行所 名古屋工業大学
セラミックス基盤工学研究センター
〒 507-0071 多治見市旭ヶ丘 10-6-29
電話 (0572)27-6811 FAX (0572)27-6812
URL <http://www.crl.nitech.ac.jp/>

印刷所 丸理印刷株式会社
〒 509-6106 瑞浪市学園台 5 丁目 1-1
電話 (0572)68-7111

(表紙デザイン：松井和也)